

老健みやざき

Rouken miyazaki

第41号

発行
2025.3月



Photo. 関之尾滝(都城市)

関之尾滝は日本の滝百選のひとつで、川床の甌穴は世界有数の規模です!



Contents

第23回 九州ブロック 介護老人保健施設大会inみやざき

◎研究部会活動報告

- ①「隠れ心房細動ゼロ!! 作戦」研修会開きました(看護・介護部会研修)
- ②「外から見た老健」学びました(リハ部会研修)
- ③「生産性向上の取り組み」学びました(看護・介護部会研修)

◎会員施設(宮崎県内の介護老人保健施設)



「第23回 九州ブロック介護老人保健施設大会 inみやざき」を開催しました



令和6年7月11日・12日の両日、シーガイアコンベンションセンターで「第23回九州ブロック介護老人保健施設大会 in みやざき」を開催し、九州各県から519人が参加しました。

「老健今！明日に繋げる『チーム力』～一人ひとりがかけがえのないひなた～」をテーマに、講演や発表を通じた研鑽と交流が行われました。

大会では、宮崎県内の会員施設から派遣されたスタッフが準備・運営を担当し、開会式では野津原勝大会会長が「老健施設は地域包括ケアシステムにおける重要な社会資源です。本大会を通じ、地域や施設間の連携を強化し、日常業務に活かしていただければ」と挨拶しました。

また、公益社団法人全国老人保健施設協会の東憲太郎会長は「老健施設は在宅支援施設としての役割を強化し、地域医療との連携を深める必要があります」とエールを送りました。

宮崎県知事の河野俊嗣氏も「老健施設は医療と介護の橋渡し役として重要な存在です」と述べ、参加者に感謝と激励の言葉を贈りました。

基調講演では、東会長が「令和6年度介護報酬改定と老健施設の今後の在り方」をテーマに、ICTや介護ロボット導入の推進、処遇改善加算の運用変更などを解説しました。

さらに、「生産性向上推進体制加算」や「夜間巡視削



野津原大会会長



東会長

減による業務負担軽減」の事例が紹介され、介護現場の効率化と職員の負担軽減の取り組みが議論されました。

続く教育講演では、潤和会記念病院の田代学医師が、認知症初期症状の背景にある高次脳機能障害について解説。「もの忘れだけでなく、認知症の進行に多様な要因があることを理解することが大切です」と述べ、参加者の関心を集めました。

市民公開講座では、日本 ACP 研究会会長の三浦靖彦医師が「人生会議（ACP）」の意義について、「人生観や価値観を話し合い、将来の医療ケアを具体化するプロセスが重要」と強調。

さらに、琉球大学の臨床倫理士・金城隆展先生は「選択を意識し、物語を共に紡ぐことが ACP の本質です」と語り、残された人々を支える「第3の終活」の考えを紹介しました。

講演後には両講師を交えた意見交換会が行われ、参加者からの質問に具体的かつ丁寧に回答がなされました。

分科会では、103 の演題がエントリーされ、20 の分科会で発表と議論が展開。各施設の取り組みや研究成果が共有され、活発な意見交換が行われました。

また、企業展示では最新の介護機器が紹介され、参加者が熱心に体験する姿が見られました。

11 日夜の懇親会では、宮崎の伝統芸能「船引神楽」や「西米良神楽」、フラダンスが披露され、地域間交流が深まりました。

また、次回大会の開催地である熊本県支部が「やっばそうだよ!! 老健施設～地域包括ケアのどまんなか 老健のプライド～」をテーマに 2025 年 7 月の熊本大会を PR しました。

最終日、野津原大会会長は「大会を通じて得た知識や経験を、日々の業務に活かしてください」と述べ、閉会を宣言しました。

「老健の未来を切り開く」ことを目指した本大会は、参加者の熱意に支えられ成功を収めました。次回熊本大会での再会を約束し、本大会の幕は下りました。

本大会の成功に至る背景には、準備段階から関係者全員が一丸となって取り組んだ姿勢があります。宮崎県内のスタッフが長期にわたり打ち合わせを重ね、各地域の参加者の意見を取り入れた企画内容を実現しました。



河野宮崎県知事



大会には数多くの方が出席



田代医師



三浦医師



金城先生

特に分科会の充実ぶりは参加者から高く評価され、介護現場の課題解決に役立つ実践的なアイデアが数多く発表されました。

現場で直面する課題を共有することで、施設間のネットワークが一層強化され、地域包括ケアの理念を実現するための基盤が築かれました。

また、企業展示も注目を集めました。最新の介護技術や製品を実際に試す機会を得た参加者は、今後の施設運営に生かせる新しい知識やアイデアを持ち帰ることができました。

中でも ICT 技術を活用した業務効率化の提案や、介護ロボットの実演は多くの関心を集め、施設での導入を検討する声が多く聞かれました。

懇親会の場合でも、地域を越えた交流が深まりました。宮崎の地元文化を楽しみながら、他県の参加者と情報交換を行うことで、新たな連携の可能性が見えてきま



明日に繋がる有意義な2日間となりました



船引神楽



西米良神楽



ナーレイアロハカウイカベキウ・フラスタジオ

した。

このような場での交流は、今後の協力関係を築く上で非常に重要な意味を持つと考えられます。

さらに、市民公開講座では、一般市民の参加も多く見られ、認知症に対する理解が深まりました。

地域社会全体で介護を支える意識を醸成するための重要な一歩となり、地域住民と老健施設との距離が縮まったことが感じられました。特に ACP の考え方を通じて、人生の最終段階における医療と介護の在り方について考える機会が提供されたことは、大きな成果と

いえるでしょう。

本大会を契機として、老健施設が果たすべき役割と可能性が改めて浮き彫りになりました。

地域包括ケアの中核を担う施設として、介護老人保健施設は今後も地域との連携を深め、介護の質の向上を目指していくことが期待されます。

次回熊本大会では、今回の成果をさらに発展させる取り組みが見られることでしょう。これからも、老健施設が地域社会においてかけがえのない存在であり続けるために、継続的な研鑽と努力が求められます。

「隠れ心房細動ゼロ!! 作戦」

研修会開きました

(看護・介護部会研修)



令和6年6月28日、看護・介護研究部会はJAアズム別館で令和6年度第1回研修会を開催しました。「みやざき健康キャラバン隊」の隊長であり、宮崎大学医学部教授の渡邊望先生を講師に迎え、脳卒中予防に重要な「かくれ心房細動」の早期発見と対策について学びました。

開会の挨拶で、同部会の坂下和代委員長は「今日学んだことを現場で活用してください」と述べ、研修の意義を強調しました。

渡邊先生は、「みやざき健康キャラバン隊」が宮崎県民の健康寿命を延ばすために結成された専門家集団であること、そして「宮崎の『かくれ心房細動』ゼロ作戦」がプロジェクトの中核であることを説明。心房細動による脳卒中のリスクを減らすことで健康寿命を延ばす取り組みについて、熱心に解説されました。

心房細動とは、不整脈の一種で心臓が血液をうまく送り出せず血栓が発生し、脳梗塞を引き起こす病態です。渡邊先生は、患者の約4割が無症状のまま発症する「かくれ心房細動」の危険性を強調し、早期発見の重要性を説きました。

この日の研修では、簡単に行える「自己検脈」の方



坂下委員長



渡邊先生

法を学び、実際に手首で脈を測る練習を行いました。

また、キャラバン隊の協力を得て、最新機器である「モニター心電図」を体験。血圧測定と心電図検査を同時に行い心房細動をチェックする仕組みに、参加者は強い関心を寄せました。

宮崎大学医学部が中心となる「みやざき健康街づくり構想」は、全学部が連携して健康寿命日本一を目指すプロジェクトで、自治体や医療関係者の協力を得ながら地域全体で取り組んでいます。

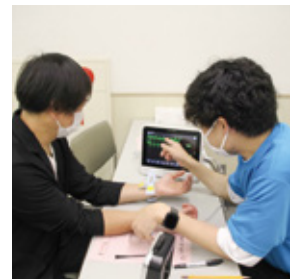
「宮崎モデル」としてのモニター心電図の導入は、隠れ心房細動の発見率向上だけでなく、医療費や介護費の削減にもつながると期待されています。

さらに、キャラバン隊は「三世代」をキーワードに活動を展開しており、小学校や中学校を訪問して健康教育を実施。子どもたちが自身の健康を理解し、将来的に健康寿命を延ばせるよう支援しています。こうした取り組みに、参加者からも共感と感謝の拍手が贈られました。

今回の研修で学んだ内容を実践に活かし、県民一丸となって健康寿命日本一を目指す取り組みが今後も広がっていくことでしょう。



各地で活躍中のキャラバン隊。このTシャツが目印です



モニター心電図を体験!



自己検脈も学びました



楽しく学んだ研修会でした

「外から見た老健」

学びました

(リハ部会研修)



令和6年10月12日、JAアズム本館中研修室でリハビリテーション研究部会主催の2024年度研修会が開催され、55名が参加しました。講師に仙台市から株式会社リエンズの管理者で作業療法士・介護支援専門員の三浦晃先生を招き、老健施設の強みや課題、ケアプラン作成におけるリハビリ専門職の役割を学びました。

三浦先生は「頭のメモ書き」の重要性を強調し、3つの目的を掲げて講義を進行しました。

まず、老健の外部からの見え方と活用法を説明。三浦先生は多職種連携の重要性やケアマネジャーの役割と課題を具体例と共に紹介し、23項目のアセスメントの必要性を強調しました。

また、宮城県の128項目のアセスメントシートを用い、情報収集と分析の活用法について解説。さらに、IADL(手段的日常生活動作)の適切なアセスメントがフレイル予防に繋がる点を指摘し、軽度者への適切な介入の重要性を述べました。

次に、老健と看護小規模多機能型居宅介護(看多機)を比較し、老健の医師常駐やリハビリ支援の充実を強みとして挙げました。一方、看多機の柔軟性や地域密着型の特徴についても触れ、老健のショートステイを

活用した自立支援の事例を示しました。また、老健の相談員が地域で施設の強みをPRする必要性についても述べました。

後半では、軽度者への対応や通所リハを活用した自立支援が重点的に扱われました。軽度者の7割以上にフレイルの要素が見られることから、適切なアセスメントと短期集中介入が重要と説明。ケース分類や課題の優先順位を図式化し、新規利用者対応を効率化する方法を提案しました。「緊急度」と「必要度」を基軸に課題を整理し、優先順位を立てる手法も示されました。

研修終盤には、セルフマネジメントや地域貢献活動も取り上げられました。「手は第2の脳」「足は第2の心臓」といったキャッチーな表現を使い、日常生活での活動量の重要性を解説。歩数換算表や目標設定の手法を紹介し、参加者自身が利用者に提案できる実践的な取り組み方法を提示しました。

また、IADLのアセスメントでは、適切な支援がフレイル予防に繋がる点を強調しました。さらに、ケアプラン作成時には、対象者の生活環境や背景を深く理解する重要性が語られました。

三浦先生は「抽象的な目標ではなく、具体的な行動計画を立てることが重要」と述べ、目標を工程ごとに分解する手法を提案し、利用者の目標達成の道筋を明確にする重要性を訴えました。

研修は実践的な内容に富み、講師の経験に基づく助言が多く、参加者に有益な学びを提供しました。終了後の質問にも丁寧に応じてくださった三浦先生に感謝の拍手が送られ、現場で役立つ知見を提供する機会となりました。



実践的な学びがてんこ盛り！



多くの気づきと学びがありました



三浦晃先生



熱気包まれる会場



熱心な質問が相次ぎました



密度の濃い研修に感謝の拍手

「生産性向上の取り組み」

学びました

(看護・介護部会研修)



令和6年11月9日、JAアズム別館3階302研修室で開かれた看護・介護研究部会第2回研修会「生産性向上の取り組み」には33名が参加し、視察報告や事例発表を通じて生産性向上に関する知識を深めました。

研修会の司会を務めたのは、介護老人保健施設ひむか苑の黒木慎一さんで、「今回学んだことを各施設に持ち帰り、今後の生産性向上に役立ててほしい」と呼びかけました。

研修会は、坂下和代委員長による福岡市西区の社会福祉法人さわら福社会特別養護老人ホームマナハウスの視察報告から始まりました。マナハウスは2004年に開設され、全室個室ユニット型の特養60床、ショートステイ11床を備えています。

報告では、介護ロボットやICT導入の進展について紹介され、介護職員の離職率は4.2%と全国平均の13.1%に比べて低いことが強調されました。

マナハウスの取り組みでは、介護記録のICT化が重要な役割を果たしており、タブレットやスマートフォンを使った直接記録や音声入力システムが導入されています。また、見守り介護ロボットにより、職員の巡回作業が減少し、定期巡回の所要時間は133分から80

分に削減。体位交換エアマットの導入により、体位交換回数が削減され、所要時間は200分から40分に減少しました。これらの取り組みによって、1日あたり610分、約10時間分の業務時間が生み出され、人員不足の解消に貢献しています。また、離職を防ぐことで採用費用の削減が実現し、介護ロボットの導入や維持費用に充てることができたそうです。

坂下委員長は、施設ごとの問題点を考え、介護ロボットやICTツールの導入を慎重に選定する重要性を強調しました。

次の講義は「宮崎県介護ロボット・ICT導入支援事業補助金の活用方法」について、介護老人保健施設東海園の岩崎茂雄さんが説明を行いました。岩崎さんは、補助金の申請から導入までの流れを紹介し、施設が導入後にどのように生産性向上を実現したかについて説明しました。

そしてユニ・チャーム株式会社の伊藤貞彦マネージャーが「紙おむつ使用枚数分析による現場の実態把握と対策でコスト削減」のテーマで講義を行いました。伊藤マネージャーは、単純に見積もり単価を下げるだけではコスト削減にならないことを指摘し、事務と現場が協力して使用状況を分析し、改善策を考える重要性を強調しました。

研修会の最後には、グループワークが行われ、参加者は各施設での生産性向上の取り組みや課題を共有し、解決策を考えました。黒木司会者は、研修で学んだことを自施設で活用し、生産性向上に貢献するよう呼びかけ、研修会は閉会しました。



黒木慎一さん



坂下委員長



岩崎茂雄さん



伊藤貞彦マネージャー



デモも交えて学びを深めました



施設の垣根を超えて意見交換

会員施設(宮崎県内の介護老人保健施設)

施設名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
介護老人保健施設 螢邑苑	889-0101	宮崎県延岡市北川町川内名7055-2	0982-46-2295	0982-46-3062
介護老人保健施設 シルバーケア新富	889-1406	宮崎県児湯郡新富町大字新田481-1	0983-33-0120	0983-33-0221
介護老人保健施設 なでしこ園	884-0002	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋3225	0983-23-8023	0983-22-5933
介護老人保健施設 信愛ホーム	880-2221	宮崎県宮崎市高岡町内山2424	0985-82-5588	0985-82-5602
介護老人保健施設 サンフロラみやざき	880-1111	宮崎県東諸県郡国富町大字岩知野字明久355	0985-75-2020	0985-75-2897
介護老人保健施設 はまゆう	889-1914	宮崎県北諸県郡三股町大字蓼池660	0986-51-0001	0986-51-0010
介護老人保健施設 ハッピーライフ高城	885-1202	宮崎県都城市高城町穂満坊455-2	0986-58-5566	0986-58-5567
介護老人保健施設 グリーンホーム	889-1911	宮崎県北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-7011	0986-52-6186
介護老人保健施設 しあわせの里	889-2401	宮崎県日南市北郷町大藤甲3589-1	0987-55-4800	0987-55-4507
介護老人保健施設 サンヒルきよたけ	889-1601	宮崎県宮崎市清武町木原5886-16	0985-84-0333	0985-84-0700
介護老人保健施設 さくら苑	889-4314	宮崎県えびの市大字大河平4327-37	0984-33-2127	0984-33-5253
介護老人保健施設 菜花園	881-0026	宮崎県西都市大字穂北字東原5253-4	0983-42-1122	0983-42-2210
介護老人保健施設 並木の里	881-0113	宮崎県西都市大字下三財8124-8	0983-44-6066	0983-44-5109
介護老人保健施設 長寿の里	889-3531	宮崎県串間市大字奈留5298-3	0987-74-1010	0987-74-2217
介護老人保健施設 メディケア盛年館	883-0051	宮崎県日向市向江町1-196-2	0982-53-8788	0982-53-8780
介護老人保健施設 ラポール向洋	883-0021	宮崎県日向市大字財光寺1131-24	0982-54-5016	0982-54-5018
介護老人保健施設 慶穰塾	883-0033	宮崎県日向市大字塩見10947-1	0982-54-6541	0982-55-3209
介護老人保健施設 みずほ	886-0007	宮崎県小林市大字真方87	0984-23-4152	0984-22-1239
介護老人保健施設 さわかセンター	886-0003	宮崎県小林市堤3008-1	0984-25-1234	0984-24-1748
介護老人保健施設 すこやかセンターこばやし	886-0004	宮崎県小林市細野2033	0984-22-3397	0984-22-3423
介護老人保健施設 相愛苑	886-0006	宮崎県小林市北西方字種子田原66-3	0984-24-1874	0984-24-1872
介護老人保健施設 みどりの丘	887-0023	宮崎県日南市大字隈谷甲1218-1	0987-27-2525	0987-27-2529
介護老人保健施設 おびの里	889-2535	宮崎県日南市飢肥6-1-15	0987-25-2012	0987-25-2013
介護老人保健施設 ハイム苑	887-0021	宮崎県日南市中央通1-10-15	0987-23-0844	0987-23-5923
介護老人保健施設 マイ・グリーンヒル	882-0863	宮崎県延岡市緑ヶ丘5-2-22	0982-32-8333	0982-32-5051
介護老人保健施設 トトロみのる園	889-0516	宮崎県延岡市鯛名町422-9	0982-37-3336	0982-37-6780
介護老人保健施設 エクセルライフ	882-0803	宮崎県延岡市大貫町1-2850-1	0982-32-1550	0982-32-1553
介護老人保健施設 昭和苑	882-0867	宮崎県延岡市構口町2-125-1	0982-22-3200	0982-22-3211
介護老人保健施設 ウエルネス苑都城	885-0053	宮崎県都城市上東町27街区16号	0986-21-1006	0986-21-1007
介護老人保健施設 こんにちわセンター	885-0079	宮崎県都城市牟田町4街区10号	0986-22-7100	0986-22-8055
都城市郡医師会介護老人保健施設 すこやか苑	885-0062	宮崎県都城市大岩田町5812	0986-39-1107	0986-39-5559
宮崎江南病院附属介護老人保健施設	880-0916	宮崎県宮崎市大字恒久字鳥の巣6245-1	0985-50-6070	0985-50-6076
介護老人保健施設 ひむか苑	880-2112	宮崎県宮崎市大字小松1158	0985-47-3434	0985-47-5376
介護老人保健施設 エンゼルホーム	880-0125	宮崎県宮崎市大字広原1350	0985-37-1588	0985-37-1556
介護老人保健施設 グリーンケア学園木花	889-2151	宮崎県宮崎市熊野470-2	0985-58-3000	0985-58-8000
介護老人保健施設 あおしまのいえ	889-2162	宮崎県宮崎市青島4-6-3	0985-65-1122	0985-65-2110
介護老人保健施設 ことぶき苑	880-0925	宮崎県宮崎市本郷北方字池田4043-1	0985-56-6622	0985-56-6628
介護老人保健施設 春草苑	880-0041	宮崎県宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8899	0985-39-8978
介護老人保健施設 むつみ苑	880-0041	宮崎県宮崎市池内町伊勢領1344	0985-39-9200	0985-39-9506
介護老人保健施設 シルバーケア野崎	880-0837	宮崎市村角町高尊2105番地	0985-28-6555	0985-28-6580
介護老人保健施設 東海園	882-0017	宮崎県延岡市川島町1080番地5	0982-30-1661	0982-30-1665
のべおか老健あたご	882-0846	宮崎県延岡市中島町4丁目314番地3号	0982-34-7575	0982-34-7579
このはな介護老人保健施設	880-2104	宮崎県宮崎市大字浮田1677番3	0985-82-8600	0985-82-8601



【編集・発行】

(公社)宮崎県老人保健施設協会

〒880-2112 宮崎市大字小松1158番地 TEL 0985-47-3941 FAX 0985-47-3967

ホームページ ▶ <https://miyazaki-roken.jp> Facebook ▶ <https://www.facebook.com/miyazakiroken>